

# 私学助成署名推進ニュース

全国私私学助成をすすめる会  
(事務局：全国私立学校教職員組合)  
No.47 2020年12月17日(木)

「私学助成拡充は政党を越えた共同で!!」と衆院:文部科学委員長

12.11 院内集会 報告②

## 4党10人の国会議員が学費の自治体間格差の解消と私学経常費助成拡充への共同を訴える



12月11日(金)の院内集会は、コロナ禍により会場を満杯にすることはできない条件でしたが、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川の関東5都県に加え、滋賀、福岡、佐賀からの76名が参加。ごあいさつをくださった国会議員の方も具体的で熱のこもった訴えをしてくださいました。どの議員さんも「学費負担の軽減、少人数学級は、政党の違いを越えた共同で」と訴えてくださいました。



※ 国会議員さんの発言は、大意を記させていただきます。



伊藤岳議員

コロナ禍で生徒さんは学校に通うことが、父母のみなさんは通わせることが大変な状況。中退の問題は、大学生のうち25%が学校にいられない状況になっている。将来のためにここを救わなくてはならない。



舟山康江議員

山形の私学フェスティバルにも参加し、山形の高校生とも懇談をさせていただいた。ようやく県も厚くしたが、まだ足りない。私学は山形において公教育の両輪。拡充の声をみなさんとともに上げていきたい。



武田良介議員

教育の責任は政治の責任。子どもたちの未来を守ることが大切。説明のあった就学支援金制度の拡充はみなさんの運動の成果。自治体によつての差は、これから改善すべき課題であり、働きかけを強めていきたい。



磯崎仁彦議員

就学支援金制度が拡充されたことは良かった。一方で年収590万円以上の所得層をどうしていくかが問われる。香川は県単独予算を4000万円減額。国がすすめるのと共に自治体もすすめる必要がある。



畑野君枝議員

年収590万円未満世帯まで39万6000円が支給されるようになったことは良かった。しかし、地元神奈川でも、県単独予算がマイナスとなっている。ここをどうにか上げさせて県制度を拡充させる必要がある



神田憲次議員

コロナ禍が経済に影響を及ぼしていることは、ご存じのところ。そのことが就職希望の生徒の就職先を少なくしている。かといって進学へ進路変更する経済的余裕はない。こういう状況を改善する必要がある。



森ゆうこ議員

日本は、出生率がどんどん下がり、止まらない少子化の状況にある。教育・子育て支援を充実させるにはもっと思い切りの良い施策が必要。7.2兆円の予備費を「GoToに3000億」でなく教育充実に大胆に使うべき。



田村智子議員

みなさんの運動で高校の就学支援金制度が拡充された。高校は頑張ったが、高校が終わった後はどうか。学生がアルバイトしなくては学べない状況も改善が必要。小中高大と安心して学べる世の中にするべき。



玉木雄一郎議員

自治体間格差が広がっている。教科書が無償なのは「教育」の観点から。だとすれば、教育は無償化されるべき。子ども国債、教育国債といった使途を教育にしばった国債を発行するなどの財政改革を提案していきたい。



左藤章議員

文部科学委員長を拝命している。専門学校、大学高い授業料の改善が必要。少人数学級の実現は絶対に必要。先生方の働き方改革もすすめる必要がある。教育の問題に党派は関係ない。みなさんと共同して頑張りたい。

## 教育全国署名スパート集会 私学助成が300万筆下支えして354万筆の到達点を発表 集会でも私学の高校生、父母が大活躍

院内集会、要請行動を経て「四谷区民ホール」で公私が合流し「教育全国署名スパート集会」が開催されました。東京：大東学園高校の「私学助成署名PR動画」をオープニングに、同校生徒会執行部が典型とりくみを報告。この日の到達点354万3,797筆を確認後、閉会あいさつで、愛知父母懇会長代行の西出さんから、愛知が209万筆を集約したこと、父母高校生が活躍し、県知事を招いたBIGフェスを成功させたことが報告され、公私とも2月中旬まで署名集約に注力することが確認されました。

